

科目名		建築計画 II			
担当教員		熊谷 貴子		実務授業の有無	有
対象学科		建築士学科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		非住宅建築物ごとの、種類・規模計画・動線計画・平面計画・断面計画・設備計画・関連用語などを学ぶ ・教科書で重要事項・用語・数値のチェック ・まとめ板書 学習範囲の知識定着を確認する ・評価テスト			
学習目標 (到達目標)		2級建築士試験の学科<計画>に対応できる知識を習得する			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		○図説 やさしい建築計画 (学芸出版) ○補足資料 各自で準備●教科書をチェックするマーカーペン●板書を記入するノート			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	小学校・中学校 幼稚園・保育所			学校の運営方式、動線計画、教室計画、関連用語を学ぶ 幼稚園と保育所、構成、幼乳児に配慮した各部計画を学ぶ	
2	図書館 博物館・美術館			図書館の構成、動線計画、閲覧形式、書架配置、用語を学ぶ 博物館の種類、構成、動線計画、巡回形式、照明計画を学ぶ	
3	劇場・映画館 事務所			劇場の構成、動線計画、舞台形式、客席計画を学ぶ 事務所のレントラブル比、コアプラン、事務室計画を学ぶ	
4	ホテル 飲食店・物品販売店			宿泊施設の構成、構成、客室計画、関連用語を学ぶ 飲食店・物品販売店の構成と動線計画、寸法計画を学ぶ	
5	病院・診療所 高齢者施設			病院の定義と構成・配置計画、診察室・病室計画を学ぶ 高齢者施設の種類と特徴、各部計画を学ぶ	
6	駐車場・駐輪場 スポーツ施設・コミュニティ施設			駐車場の種類と形式、駐車・駐輪に必要な寸法を学ぶ スポーツ施設・コミュニティ施設の種類と計画概要を学ぶ	
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	評価テスト	期末試験		2章ごとに知識定着の確認として、評価テストを実施します	
10 %	40 %	50 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				様々な建築物の計画を学び、身近な施設に興味を持って接していきましょう	
実務経験教員の経歴		建設会社にてインテリアコーディネーター・設計補助、職業訓練校にて外部講師・製図・CAD 現在デザイン業として大工家業のデザイン設計提案			